

授業概要

子どもの豊かな言葉を育む遊びや活動を構想し、具体的な実践方法を習得できるよう指導する。具体的には、まず、子どもの言葉の発達及び、領域「言葉」のねらいや内容に関する知識と、子どもが抱える現代的な課題の把握を行う。次に、授業での遊びの経験をもとに、子どものイメージや空想を喚起する遊びや活動を考案し、指導案を立案できるよう指導する。

授業計画

Gはグループワーク、Dはディスカッション

第1回	オリエンテーション、子どもの言葉をめぐる現代的な課題① 【遊び】「たんたん連想ゲーム」
第2回	子どもの発達と領域「言葉」 【演習】自己紹介の歌を作ろう（替え歌づくり）
第3回	絵本と保育（物語絵本と科学絵本）【演習】絵本から活動を構想し発表しよう（G・D）
第4回	絵本の読み聞かせの工夫 【演習】発達を考慮した工夫のある読み聞かせ（G・D）
第5回	子どもの絵と言葉（事例「子どもの絵本づくり」）【演習】「くろまる絵本」の作成
第6回	言葉を育む実体験（自然と科学）【演習】ソニー教育財団「保育のヒント」実践例を紹介する
第7回	言葉とイメージを育む即興的な遊び【遊び】「額縁の絵」「おはなしリレー」（G）
第8回	ごっこ遊びと劇遊びの違い／発表会の留意点（D）【演習】『かいじゅうたちのいるところ』を場面に分けてみよう
第9回	ごっこ遊びの立案①構想の方法【演習】ごっこ遊び『おっきょちゃんとかっぱ』／指導案の下書きシートを作成
第10回	ごっこ遊びから劇遊びへ【演習】ごっこ遊びをもとにした脚本作成
第11回	こどもの劇表現（演出、音楽、身体表現）と言葉【演習】脚本の上演に向けた準備
第12回	劇遊び発表会（脚本の上演と相互評価による学び合い）
第13回	言葉を育む活動と遊び（まとめ）、指導案の立案①活動の方法と手順、環境図
第14回	指導案の立案②相互評価と改善（G・D）
第15回	子どもの言葉をめぐる現代的な課題② 【演習】「早期教育の光と影」を読む
第16回	筆記試験

到達目標

- ・子どもの言葉に関わる現代的な課題を正確に捉え、解決策を自分なりに考察できる。
- ・発達を踏まえて、子どもの豊かな言葉を育む遊びや活動を立案できる。
- ・子どもの主体的な遊びや活動の具体的な展開方法を習得できる。

履修上の注意

- ・授業毎に子どもの遊びの紹介（実際に遊ぶ）がある。積極的な気持ちで参加すること。
- ・授業の最初に前回授業で学んだことを豆テストで確認する。復習をしておくこと。
- ・遅刻は20分以内までとし、遅刻3回で欠席1回とする。

予習復習

- ・予習：授業で行った遊びや活動のノートを読み返し、説明できるようにしておく。
- ・復習：①授業のノート、資料を読み返す。②授業で行った遊びや活動をノートに記録しておく（遊びの手順、内容、年齢、環境図など）。③授業で紹介された絵本を「絵本ノート」（授業時に作成の方法を指示する）に記録する。

評価方法

- ・授業への参加度・発表：30%、提出物：30%、筆記試験：40%

テキスト

- ・保育所保育指針
- ・幼稚園教育要領
- ・授業時に配布する資料